

地震・津波について 知ろう

震度と揺れ等の状況

南海トラフ巨大地震が発生したとき、田辺市では最大震度7が予想されています。



津波に関する警報と注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されます。

	発表される津波の高さ 数量での発表(津波の高さと予想高さの区分)	とるべき行動	想定される被害
大津波警報 (特別警報に位置付け)	10m超(10m<予想高さ)	海岸や河川沿いにいる人は、ただちに高台などを安全な場所へ避難してください。 津波は繰り返していくので、津波警報が解除されるまで安全な場所への避難を続けてください。	木造家屋が全壊・流失します。安全が確認されるまでは、避難場所で待機します。
津波警報	10m(5m<予想高さ10m)	高い	ラジオ・大津波警報の発表状況(気象庁)・津波警報の発令状況(気象庁、和歌山県)・津波警報が解除されるまで安全な場所への避難を続けてください。
津波注意報	5m(3m<予想高さ5m)	3m(1m<予想高さ3m)	海の中には人は速い流れに巻き込まれます。人は津波による流れに巻き込まれます。

●震源が陸地に近いと津波警報が間に合わないことがあります。「揺れた上から津波が来る」といいます。●津波が沿岸の地域などの影響により局的に予想よりも多くなる場合があります。●津波によって孤立した場合に、被害の軽減につながる最も重要な行動が「共助」であると言われています。そのためにも、普段から住民同士の顔の見える関係づくりが何よりも大切です。

一人ひとりが行う 自分自身の防災活動

自助・共助・公助

防災・減災のキーワードとして、「自助」「共助」「公助」という言葉がよく使われます。自助とは「自分の身は自分で守る」こと、共助とは「家族・近所でお互いに助け合い地域を守ること」を指します。また、公助とは「公的機関からの救助や支援」を指しています。災害の発生を完全に予見し防ぐことはできませんが、自助・共助・公助が連携し、効果的に機能することで、被害を減らすことが可能となります。

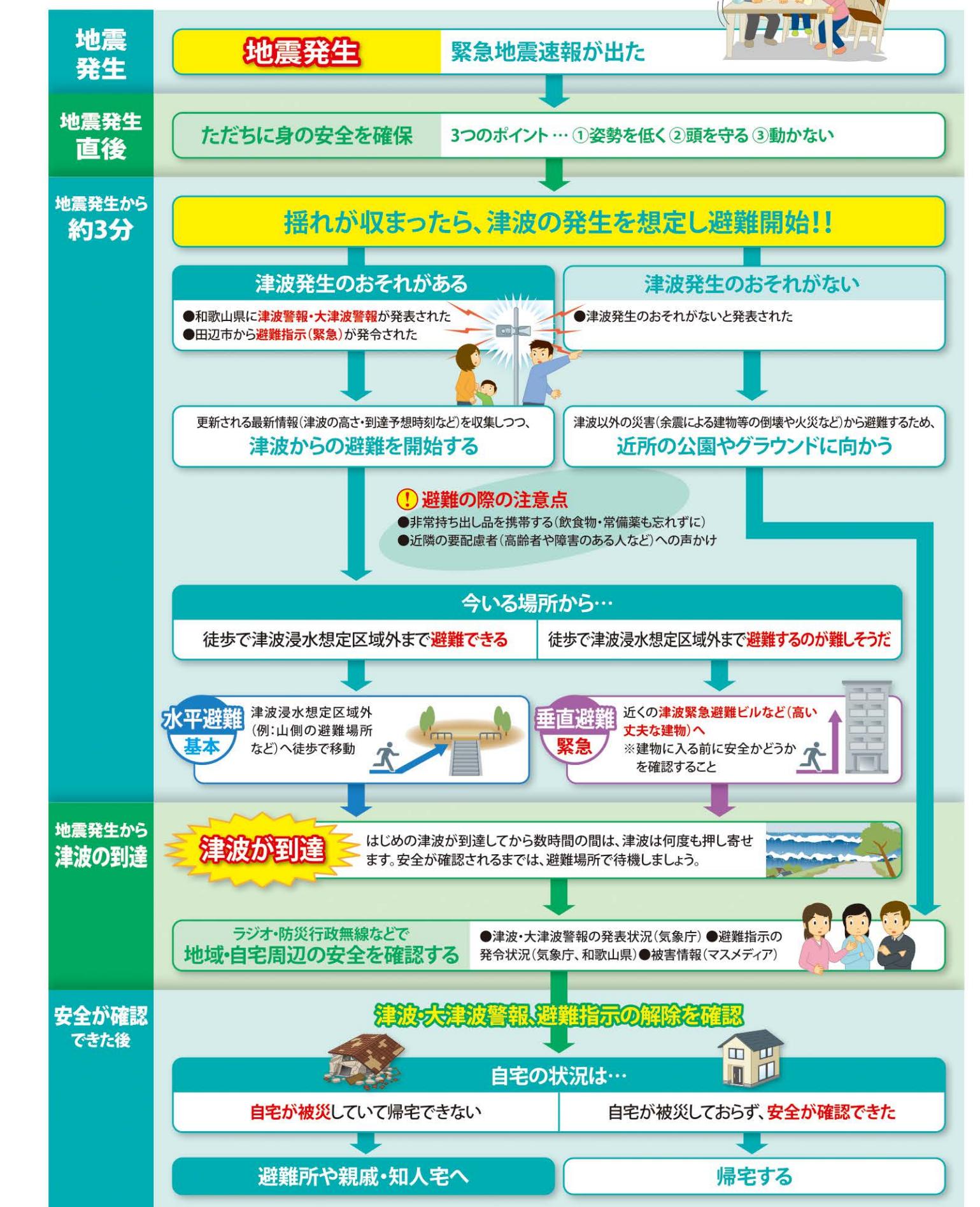


今すぐできる地震対策

地震によって建物が倒壊しない場合でも、大きな家具の転倒やガラスの飛散などにより、ケガをしたり、閉じ込められたりするおそれがあるので、今すぐ地震対策をしましょう。



地震・津波から 身を守るポイント



避難経路を想定して マイマップを作ろう

マイマップの作り方

地震はいつ起こるかわかりません。いろんな場面において地震や津波が起きた場合に備えて、家族みんなの避難先(裏山、高台、公園など一時的に身を守るために緊急避難する場所)を確認しておきましょう。また、表面の津波避難マップに、自分が避難する場合を想定した避難情報を書き加えて、より具体的な避難行動イメージができるようにしておきましょう。

マイマップの記入例(表面:津波避難マップ)

①自宅や学校、勤務先等をチェック

まず、津波避難マップであなたの自宅や学校、勤務先を探して、予測されている被害の有無(津波浸水想定区域に入っている、危険箇所がある等)を確かめましょう。

津波の浸水範囲にかかる道路や橋、地下道、狭い道路は避けるコースを設定しましょう。



②避難先と避難経路を決める

次に、目標とする避難先を確認して、避難先までの経路を考えてみましょう。

津波の浸水範囲にかかる道路や橋、地下道、狭い道路は避けるコースを設定しましょう。

日頃からの備えが大切 非常持ち出し品・連絡方法など

非常持ち出し品の準備

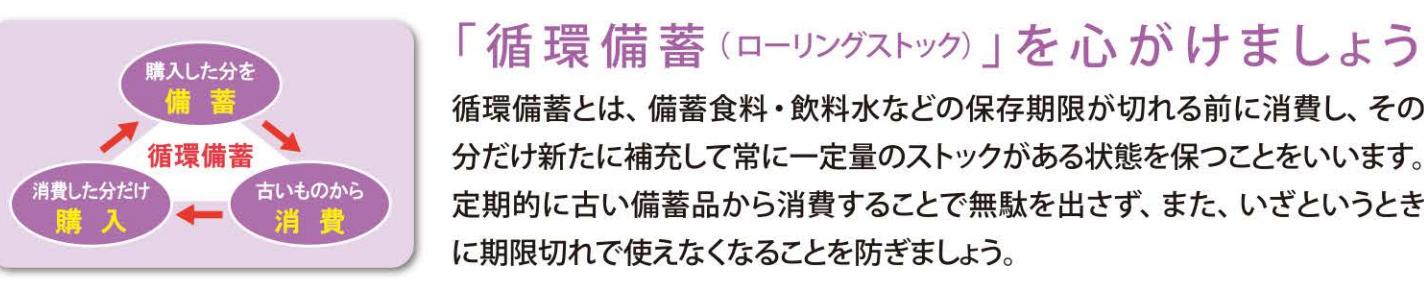
災害が発生したときは、すぐに避難しなければいけません。避難する場合に備えて、リュックサックなどに必需品をまとめ、持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。

食料	救急・安全対策	貴重品
<input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日~3リットルを自己安) <input type="checkbox"/> 非常食(缶詰、乾パン、ハムなど) <input type="checkbox"/> 携帯食(チキンレッグ、キャンディーなど) <input type="checkbox"/> 粉ミルクと離乳食(赤ちゃんがいる場合) <input type="checkbox"/> アレルギー対応食品(アレルギーがある場合) <input type="checkbox"/> 日用品から、7日の分の食糧、非常備品として常備しておきましょう。	<input type="checkbox"/> 常備薬(胃腸薬、かぜ薬など) <input type="checkbox"/> 包帯、ガーゼ、はんそうこう <input type="checkbox"/> 携帯用(手袋、消毒薬) <input type="checkbox"/> 持病のある方の薬 <input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ズキン <input type="checkbox"/> ホイブル	<input type="checkbox"/> 現金(小銭も必要) <input type="checkbox"/> 預貯金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> クレジットカード類 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 免許証など(身分を証明するもの)

衣類など

<input type="checkbox"/> 衣類(厚手の物と薄い物) <input type="checkbox"/> 下着類 <input type="checkbox"/> タオル、毛布 <input type="checkbox"/> 手袋、軍手 <input type="checkbox"/> 寝袋 <input type="checkbox"/> 雨具	<input type="checkbox"/> 携帯電話(充電器・バッテリー) <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ライター <input type="checkbox"/> ナイフ、佐竹刀 <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ <input type="checkbox"/> 携帯電池(予備電池) <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(予備電池)
---	---

<input type="checkbox"/> 日用品など



災害時の連絡方法・情報の入手先

災害時の連絡方法を家族で確認しておきましょう。また、田辺市の『防災・行政メール』を登録しておきましょう。

災害伝言ダイヤル ①⑦①

電話を用いて安否情報(伝言)の録音・再生を行うことができます。
① ⑦①をダイヤル
② 録音は①
③ 被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル
④ 音声ガイダンスに従い、録音・再生

田辺市ホームページ

田辺市の防災に関する情報などを提供しています。
URL: <http://www.city.tanabe.lg.jp/>



みんなで助け合う 地域の防災活動

自主防災組織の役割

自主防災組織とは、「自分たちのまちは自分たちで守る」という、地域住民の連携に基づき、結成される防災組織のことです。自主防災組織は、災害発生時に、お互いの身を守るために、平時からの防災訓練を含めた防災活動を行います。災害時に効果的な活動ができるよう、住民一人ひとりが防災に関する正しい知識を共有し、各家庭で備えるとともに、地域住民が一体となり防災活動へ取り組むことが重要です。

日常の活動例

防災知識の普及

防災講演会の開催、防災チラシの発行など。

地域の危険箇所等の把握

災害危険箇所・防災上有効な施設の把握、地域防災マップの作成など。

防災訓練

情報伝達・避難・避難場所開設・運営、初期消火、応急手当、給食・給水訓練など。

防災資機材の整備

防災活動に必要な資機材の整備や確認など。

避難行動要支援者への支援

高齢者、障がい者など災害時に支援を要する方の事前把握・支援計画の作成。

防災に関する地域のコミュニケーション

防災場所での飲料・食料水・救援物資の配給、炊き出し。

災害時の活動例

初期消火活動

地盤の上の出火防止、火災が拡大するまでの初期消火、消防隊が到着するまでの延焼拡大防止。

避難誘導

正確な情報による安全な避難経路を経由した住民避難誘導。※避難行動要支援者(高齢者、障がい者などの支援を要する方)を優先。

救出・救援活動

負傷者の救出や応急手当の実施、重傷者の病院搬送。

避難行動要支援者への支援

避難行動要支援者への情報提供・避難支援。

情報収集・伝達活動

防災関係機関・地域内の情報収集・伝達。

給食・給水活動など

避難場所での飲料・食料水・救援物資の配給、炊き出し。

崖・芋・田中・境・中芳養 地区における主な避難場所と避難経路

